

「フラワーバレンタイン」でバラを贈ろう！ 世界で一番花を贈る日、イベント通じて花き業界を盛り上げ



世界でいちばん
花を贈る日。

2.14 Flower Valentine

西尾市を中心としたバラ生産者で組織するレインボーバラ共選組合（山本圭悟組合長）では2月上旬、バレンタインデー向けのバラの集出荷を行います。

欧米やアジア諸国では2月14日のバレンタインに男性から女性へ花を贈ることが定番とされており、近年では欧米各国の動きにならって、日本でも男性から女性へ花を贈る「フラワーバレンタイン」の動きが盛んになってきました。年々需要が増えるこの時期に向けて、レインボーバラ共選組合では鮮度の高いバラを取引生花市場へ出荷しています。

■取材対応日■

【日時】2月4日（火）午前8時50分集合

【集合】JA西三河 野々宮センター
（西尾市野々宮町尾竹2-2）

※野々宮センターへ集合後、収穫を行っている農家のハウスへご案内します。

取材先農家：

レインボーバラ共選組合 山本圭悟組合長のハウス
（西尾市吉良町津平）

※選花場での集出荷のようすは、同日の11時40分頃より野々宮センターで対応します。

※取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

■作柄（1月15日現在）

1・2月は冷え込みの影響で全国的に出荷量は落ち着いていますが、西尾のバラは例年通りの出荷の見込み。2月は年間を通して花持ちが一番良く、1ヶ月半ほど持ちます。また色のノリも良く、品質の良いものが揃っています。

バレンタインに向けて
赤やピンク系品種の
需要が高まります



選花場での集荷のようす



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15

企画室企画課 広報担当：尾形

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：https://www.ja-nishimikawa.or.jp/

Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com



※このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

市のシンボルフラワー「バラ」生産概要

鮮度と日持ちが自慢！ 高品質のバラを届ける**レインボー**



レインボーバラ共選組合の生産者ら

◆西尾市のバラ生産の特徴

西尾市のバラ生産者で作る「レインボーバラ共選組合」では、98種・約530万本のバラを周年生産し、愛知県内を中心に、関東・関西方面の市場へも出荷しています。

1993年発足以来、「地産地消」と「高品質」を重点に掲げており、愛知県内の市場への販売額は県内一。また発足当初より湿式輸送（水の入った容器で市場への輸送を行うこと）を全国に先駆けて採用するなど、鮮度への強いこだわりを持って生産しています。安定経営を背景に、後継者として若い生産者も就農。高品質のバラを将来にわたり出荷できる体制を整えています。

◆日持ち性認証取得でブランド定着向上

レインボーバラ共選組合は2018年4月、日本花き生産協会の「花き日持ち性向上生産管理基準認証者」の認証を取得。



この認証は、同協会が花きの日持ち性を高めるため生産段階で必要な事項を品目ごとに定め、基準に従って生産出荷する生産者や生産者団体を認証するもの。同組合では、この認証取得によるさらなるブランド定着・向上を通して所得増加をめざします。

2月からはブライダル向けの出荷もスタート！

ブライダル品種も取り扱い、ブライダル向けの出荷は2月～6月、10月、11月がメイン。中には、県内でも珍しくスプレーでブライダル品種8種を生産する農家もあり、2月下旬からは新品种「ウエディングドレス」の出荷も始まる予定！



ウエディングドレス

【生産者部会情報】

名称：レインボーバラ共選組合
 部会員数：15人・1法人 耕作面積：727ア
 流通先：愛知県内の市場（愛知県市場への流通量は県内1位）、および関東・関西方面の市場など9市場
 取扱実績：98品種・約530万本出荷、売上約4億円（平成30年度）
 収穫期：通年

【全国の生産概況】（平成30年度）

全国のバラ生産量：2億3600万本
 愛知県のバラ出荷量：4330万本（全国1位、以下静岡県（2050万本）、山形県（1740万本））
 データ：農林水産省 作況調査（花き）平成30年度確報
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/index.html#r